

## 国立大学法人奈良国立大学機構の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>【1-2】奈良女子大学は、世界トップクラスの研究を進め、国際的プレゼンスを高め、女性の理工系分野への進出を促すために、次の取組を行う。</p> <p>（１）理学部を持つ女子大学という特色と、理系女性リーダーの育成拠点として人材を育成してきた実績を活かし、理工系の知識と素養を持つ女性人材を社会へ輩出する。基礎研究の充実と促進のための基盤を整備し、ミッションの再定義により本学の強みとされ、小規模大学ながら実績を積みあげてきた高エネルギー物理学を含む基礎物理学、分子科学、基礎生物学の研究を中心に、最先端の理工系基礎研究を推進する。</p> <p>（２）工学分野への女性進出を促すために、工学系の大学院課程を新設する。「奈良カレッジズ」参画機関をはじめとする国内外の教育研究機関との連携を推進し、生活や消費に視点を定めた、価値の創造とイノベーションを併せて追究する新たなタイプの工学（生活工学）の発展を主導する。</p> <p>（３）女性の理工系分野への進出を促すためには、学部・大学院レベルの改革だけではなく、初等・中等教育課程を含む、全教育課程の改革が必要である。第３期中期目標期間において奈良女子大学とお茶の水女子大学とが共同で作りに上げてきた「理系女性教育開発共同機構」を引き継ぐ、奈良</p>		

女子大学「理工系女性教育開発機構（仮）」を中心に、奈良教育大学の協力も得て、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における女子生徒の理工系科目履修の促進等も含め、その改革に取り組む。

評価指標	<p>【1-2-1】理学系における博士前期課程修了者数〔第3期中期目標期間の水準を維持〕</p> <p>【1-2-2_01】工学系の大学院課程の設置</p> <p>【1-2-2_02】「奈良カレッジズ」の確立〔両大学と、奈良県及び関西文化学術研究都市に立地する高等教育機関、研究機関、企業、自治体等との連携による教育研究インフラの高度化〕</p> <p>【1-2-3】理系女性教育開発共同機構から継承するアメリカ学生研修（SEASoN）や中高生による研究発表会（サイエンスコロキウム）の取組を継続実施するとともに、女子高校生の理工系進学、及び女子大学生の大学院進学を促すための教育改革に関する研究、実践の公表</p>
------	--

別表 学部、研究科等及び収容定員

【奈良教育大学】

学部	教育学部 1,020人 (収容定員の総数)
研究	教育学研究科 140人

